



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2199

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森信秀樹
幹事 謙訪昭浩

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC [検索]



「ロータリー理解推進月間」

2015年1月22日 第2175回例会
1月第3例会

◆会長時間◆

森信会長



皆さんこんにちは。西ロータリークラブに入会した私の初めての自主申告は、20年前の2月の誕生日を建築士ボランティアに参加した神戸市長田区菅原市場の焼け残ったアーケードの前で被災された人や各地から集まったボランティアに祝ってもらったことの報告でした。目に見える限り神戸は震災の影響をほとんど感じさせませんが、関係者の心の中はいかがなものでしょうか。東日本大震災や昨年8月の広島市土砂災害などが重なって見えています。

さて、RIはロータリー特別週間として1月27日を含む1週間を「追悼記念週間」(Remembrance Week)と定めています。

1947年1月27日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスの命日です。1989年10~11月の理事会において、毎年この1月27日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間として「追悼記念週間」と指定しました。当クラブにおいても改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、今月は最後の「ロータリー理解推進月間」です。ロータリー情報委員会の担当で広島西ロー

タリークラブの「戦略計画」について斎藤副委員長、中村特別委員長からご説明をしていただきます。私も前振役として少しお話をさせていただきます。

●会務報告

謙訪(昭浩)幹事

※国際ロータリー第2530地区から、当地区に「ふくしまインターラクトクラブ新聞」が送付されており、地区から当クラブにも送られてきましたので回覧いたします。
※例会終了後、4階「カメリア」において第4回クラブ協議会及び第4回創立45周年実行委員会を開催いたしますので、理事役員及び各委員長は出席願います。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 松岡(幹)副委員長

本日(1月22日・木曜日)

会員数 77名 出席者 72名

欠席者 5名 ご来客 3名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 75名

前々回(1月8日・木曜日)

出席率 100%



※ ロータリー情報委員会 古屋委員長
2015-16年度RI会長テーマについて

1月18日(日)、米国サンディエゴの国際協議会で、K. R. ラビンドランRI会長エレクトが、2015-16年度のテーマ「世界へのプレゼントになろう」を発表しました。

その中で会長エレクトは、次のように述べました。

「ここにおられる皆さんは、多くを与えられた方々です。そして今、皆さんに最高のプレゼントが与えられようとしています。それは、授けられた才能と持ちうる力の限りを尽くして、

“世界へのプレゼント”となることのできる1年です。(中略) このために皆さんに与えられた時間は1年です。この時間はあまりに短く、成すべきことはあまりに多くあります。(中略) 次年度、信念、情熱、才能だけでなく、皆さん自身を世界へのプレゼントとして捧げてください」

会長エレクトはさらに、「私たちは、ポリオのない未来を約束しました。(中略) 聞いを続け、必ずや勝利します」と続け、ロータリーが世界にもたらす影響の良い例がポリオ撲滅であると述べました。25年前にポリオ撲滅の目標を掲げたとき、125カ国にポリオウィルスが常在し、毎日1,000人以上の子どもがポリオの犠牲となっていましたが、現在のポリオ常在国はアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国のみ。2014年に報告されたポリオの症例数はわずか333件だけでした。

続けて、会員増強についても触れました。「私たちの組織を形づくった基本に立ち返る方法を模索しなければなりません。それは、人生のあらゆる場面における高い倫理基準と、各クラブの人材の多様性を奨励する職業分類システムです」と述べ、これらはロータリーの成功に欠かすことができず、なおざりにすれば、自らを危険に陥れることになるでしょう」と訴えました。

またブランドイメージを高める取り組みもロータリーの発展にとって極めて重要であり、「世界の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージを変える必要がある」と主張します。「各課題に対する簡単な答えはありませんが、何とかして答えを見つけなければなりません。

それを見つけるのは、ほかでもない私たちです」と訴えました。

最後に会長エレクトは「今こそ真の変化を成し遂げるとき」と述べ、次のようにしめくくりました。「これから1年は、永遠に持続する“記念碑”を築くために与えられた時間です。この記念碑は、今後何世代にもわたって人びとの人生と心に刻まれるものです。この機会は二度と訪れるものではありません。今このときを逃さずに生きようではありませんか」



世界へのプレゼントになろう
2015-16年度のテーマ

● 同好会報告

◎ 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会1月例会のご報告

1月の紫雀会は、いつもの庚午クラブで15日(木)午後6時より行なわれました。

新入会員宇野さんのデビュー戦となりました。入会していきなり、四暗刻で役満を上がられ、みんなの度肝を抜いたのですが、入賞とはなりませんでした。しかし、小橋さんの見立てでは、かなり筋がいいと絶賛されました。(笑) そんな中での、優勝は久しぶり岡野さん、準優勝は園尾さん、3位に毎回入賞の小橋さんでした。

次回例会は2月19日、第3木曜日午後6時よりいつもの庚午クラブです。皆さん、万障繰り合わせの上、ご出席の程、宜しくお願い致します。

● 会員記念日

■ ご入会記念月おめでとうございます。

(6名)

坂田君 (S 59年) 荒谷君 (H 3年)
井原君 (H 4年) 加藤君 (H19年)
中山君 (H23年) 片山(恵)君(H24年)

創業月おめでとうございます。

(4名)

荒谷君 荒谷建設コンサルタント㈱
児玉君 (医・社)仁和会児玉病院
筧 君 (学)至徳学園至徳ルンビニ幼稚園
小田君 広島総合法律会計事務所

●スマイルボックス SAA 羽井委員

香川(基)君 (経済レポート1月22日号から)

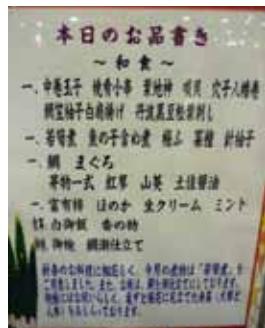
福屋は、八丁堀本店屋上から文化を発信する「屋上アートプロジェクト」を始める。1月17日に開いた「トークイベント」を皮切りに「文化発信イベント」との2つを軸に展開し、地域貢献と中心部のにぎわい創出につなげていく。同プロジェクトは、建築家の安部良さんと進行役の有馬恵子さん、福屋の20~40代社員13人でつくる「福屋あおぞら研究会」で企画、運営する。屋上イベントで交流を促し意見を取り入れることで、地域で担う役割や新たな魅力と存在価値を探っていく。一緒に盛り上げるサポートを団体、個人を問わず募集中のことです。詳しくは香川さんまで。

福屋の益々のご発展を祈念しています。ご出宝下さい。

紫雀会1月例会

優 勝 岡野君 (ダブル)
準優勝 園尾君
3 位 小橋君

●例会料理メニュー



●卓話予告

日 時	テ 一 マ
2/5(木)	「海苔の話 あれこれ」 松 岡 輝 明 会員

■卓 話

ロータリー情報強調プログラム

広島西ロータリークラブ 戦略計画について



広島西ロータリークラブ
戦略計画策定の趣旨について

森 信 秀 樹 会長

1. 広島西ロータリークラブ長期ビジョン作成経緯

2007-08年度 CLP検討時に、長期ビジョン委員会が設置。

2009-10年度 中村哲朗会長年度に、4年越しで最終答申が理事会宛された。

委 員：浜井順三委員長、園尾パスト会長はじめ計11名

オブザーバー：長谷川パスト会長 (CLP検討時
2007-08年度会長)

実働部隊として長期アクションプラン検討チ
ームを09-10年度に設置

斎藤リーダー、香川(基)、土井、
梶本、新原、諫訪(昭浩)、前橋、
(現会員)

2009年11月26日 委員会採択
09年12月理事会に提出、以降理事会、クラブ
フォーラムでの全員協議等を経て10年2月理事
会で答申案を受領。クラブの運営方針として有
効に活用するものとすることなど確認した。

2. 今回見直しの背景

本年度は従来にも増して、RIが推奨するCLP
(クラブリーダーシッププラン)に沿った運営
を心がけている。CLPの10項目の最初に「ク
ラブは5年後の姿を思い描くため戦略計画を立
てる。必要に応じて計画に修正を加えながら長
期目標の達成に向けてクラブ全体で取り組む」
とありこれに基づき、前回策定から5年経過し
たことを受けて、改めて現状を分析し、創立50
周年に向けてより良いクラブになることを願つ
て当時のメンバーを中心に特別委員会を組織し
た。中村委員長のもとで精力的な会合と協議を
経てプラスアップされたものとなった。



広島西ロータリークラブ 戦略計画の内容について

戦略計画策定特別委員会
中村 哲朗 委員長

2014-15年度 戰略計画策定委員会 中村委員長から広島西ロータリークラブ創立50周年に向けて策定された「活力あるクラブへの戦略計画」が配布されその内容について説明された。

(全文を当クラブのホームページへも掲載予定。)



戦略計画が有効に活用され 実効性を持たせるために

ロータリー情報委員会
斎藤 昭一 副委員長

戦略計画

ロータリーがこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリーの戦略計画です。

この戦略計画は、アンケート調査、フォーカスグループ（座談会調査）、委員会、会合を通じて集められた会員の意見を基に形づくられました。ロータリーがこれからも目標に向けて前進しつづけていくために、戦略計画は、ロータリアンの願いや希望を取り入れながら進化していくものです。生涯にわたる友情をはぐくみます。

倫理と高潔性 (ETHICS AND INTEGRITY)

約束を守りぬきます。

多様性 (DIVERSITY)

さまざまな考え方をつなぎます。

職業の知識とスキル、奉仕、リーダーシップ (VOCATIONAL EXPERTISE, SERVICE, AND LEADERSHIP)

リーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。

